

# FUJITEC

## 2025年3月期第3四半期 連結業績概要

(2024年4月1日から2024年12月31日まで)

2025年2月6日

フジテック株式会社

(東京証券取引所プライム市場: 6406)



## 2025年3月期第3四半期連結業績概況

- ◆ 全体概況：受注額・売上額・営業利益は過去最高値を更新
- ◆ 受注状況：日本、南アジア、米州・欧州で過去最高を更新
  - ・ 新設事業は日本と南アジアで、アフターマーケット事業は全セグメントで拡大／保守台数は前年同期比で約5%増加
- ◆ 売上状況：日本、南アジア、米州・欧州で過去最高を更新
  - ・ 新設事業は南アジア、米州・欧州で2桁増、日本も好調を持続／アフターマーケット事業は全セグメントで拡大
- ◆ 営業利益：日本、南アジア、米州・欧州で過去最高を更新

## 2025年3月期通期業績見込み（修正）

- ◆ 全体概況：中国市場の低迷により売上・営業利益以下利益項目の見通しを下方修正するが、売上と営業利益は過去最高更新
- ◆ 売上状況：日本、南アジア、米州・欧州は計画を上回るも、東アジアが減少し、全体で計画に届かない見込み
- ◆ 営業利益：日本で計画を大きく上回るも、東アジアの減少を補えず、全体では計画に届かず。ただし、中国での一時費用を除くと、全体では当初計画を上回る見込み
- ◆ 当期利益：中国で人員削減に関連した特別費用の計上や繰延税金資産の取り崩しを行うため、計画を下回る。配当は当期利益の減少が一時的な要因が主因であることから年間165円を据え置く

2025年3月期第3四半期連結業績概況

# 第3四半期 連結業績ハイライト

受注高・売上高・営業利益において、第3四半期累計額として過去最高を更新  
四半期純利益の減少は、昨年香港での固定資産売却による特別利益が52億円発生していたことが主因

(金額単位：百万円未満切捨)

	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	増減率(%)
受注高	178,486	<b>194,064</b>	8.7
売上高	166,902	<b>178,102</b>	6.7
営業利益	10,843	<b>13,816</b>	27.4
経常利益	14,443	<b>16,681</b>	15.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,681	<b>11,149</b>	▲28.9
1株当たり四半期純利益	201.02円	<b>142.88円</b>	-

対米ドル円為替レート

137.68円

**151.49円**

# 第3四半期 セグメント別業績ハイライト

受注はアフターマーケット事業が全地域で拡大、営業利益は全セグメントで増益を達成

<事業別>

(金額単位：百万円未満切捨)

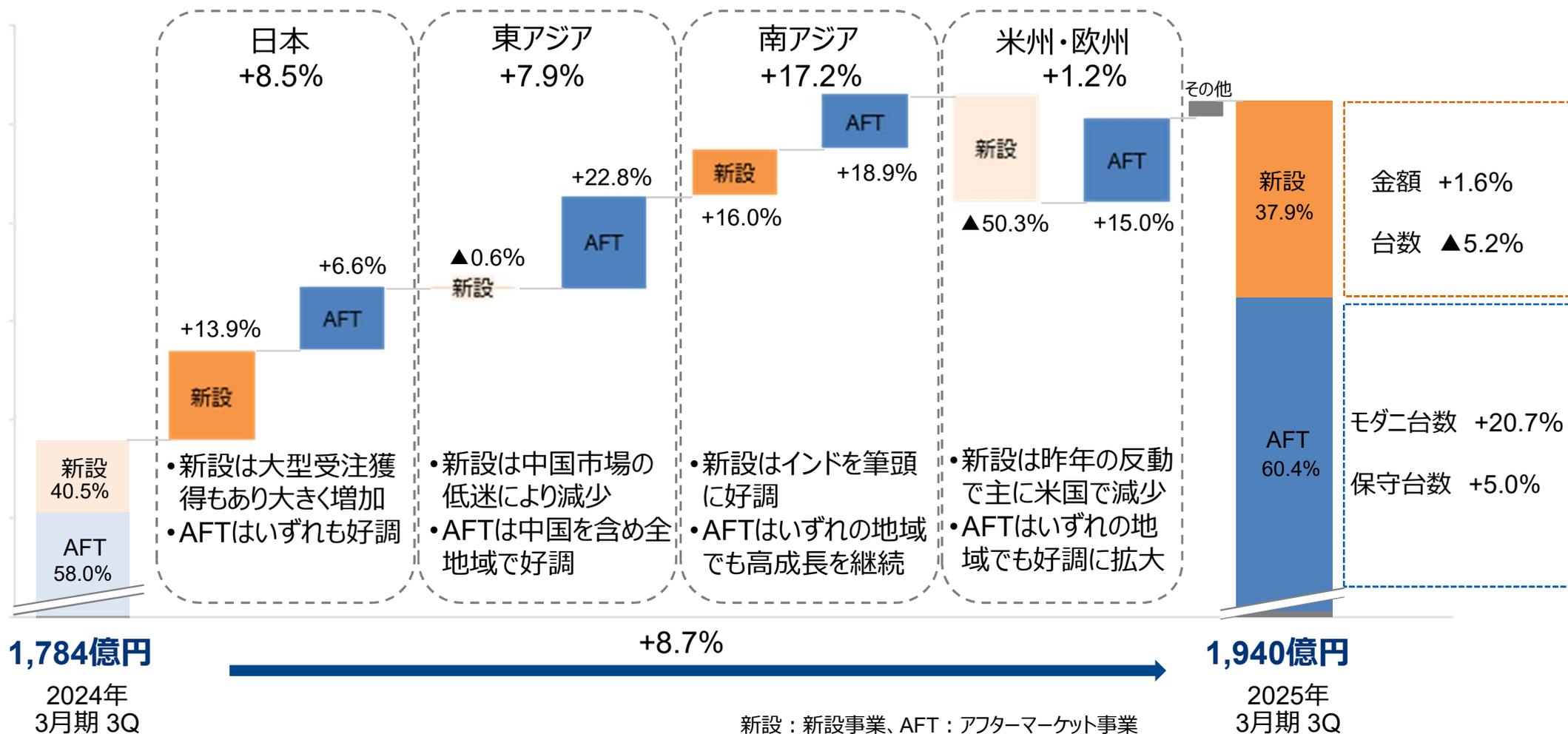
	受注			売上高		
	2024年3月期3Q	2025年3月期3Q	増減率(%)	2024年3月期3Q	2025年3月期3Q	増減率(%)
新設	72,350	73,513	1.6	70,886	70,303	▲0.8
アフターマーケット	103,503	117,273	13.3	94,347	104,925	11.2
その他・調整額	2,633	3,279	-	1,667	2,874	-
合計	178,486	194,064	8.7	166,902	178,102	6.7

<エリア別>

	受注			売上高			営業利益		
	2024年3月期3Q	2025年3月期3Q	増減率(%)	2024年3月期3Q	2025年3月期3Q	増減率(%)	2024年3月期3Q	2025年3月期3Q	増減額
日本	76,648	83,162	8.5	63,357	66,917	5.6	4,041	5,750	1,708
東アジア	49,605	53,539	7.9	59,670	52,986	▲11.2	1,596	1,851	254
南アジア	27,398	32,103	17.2	22,724	28,629	26.0	4,397	4,948	551
米州・欧州	36,581	37,009	1.2	32,115	40,562	26.3	960	1,346	386
調整額	▲11,748	▲11,750	-	▲10,965	▲10,993	-	▲152	▲80	71
合計	178,486	194,064	8.7	166,902	178,102	6.7	10,843	13,816	2,972

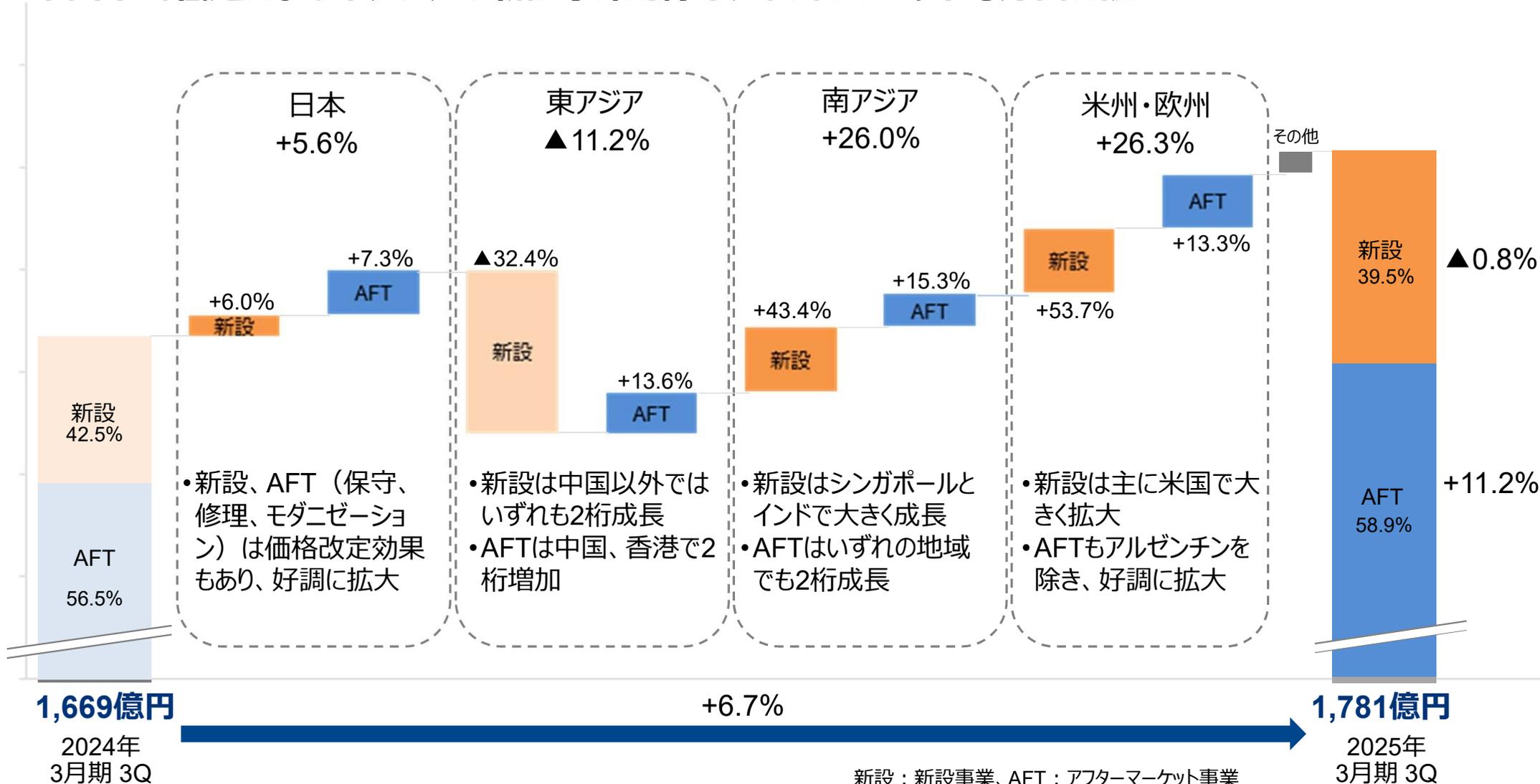
# 第3四半期 受注高ブレークダウン

新設受注は日本および南アジアが好調に拡大。アフターマーケット事業は全地域で増加



# 第3四半期 売上高ブレークダウン

中国市場低迷による東アジアの新設事業を除き、その他はいずれも好調に拡大



- 新設、AFT（保守、修理、モダニゼーション）は価格改定効果もあり、好調に拡大

- 新設は中国以外ではいずれも2桁成長
- AFTは中国、香港で2桁増加

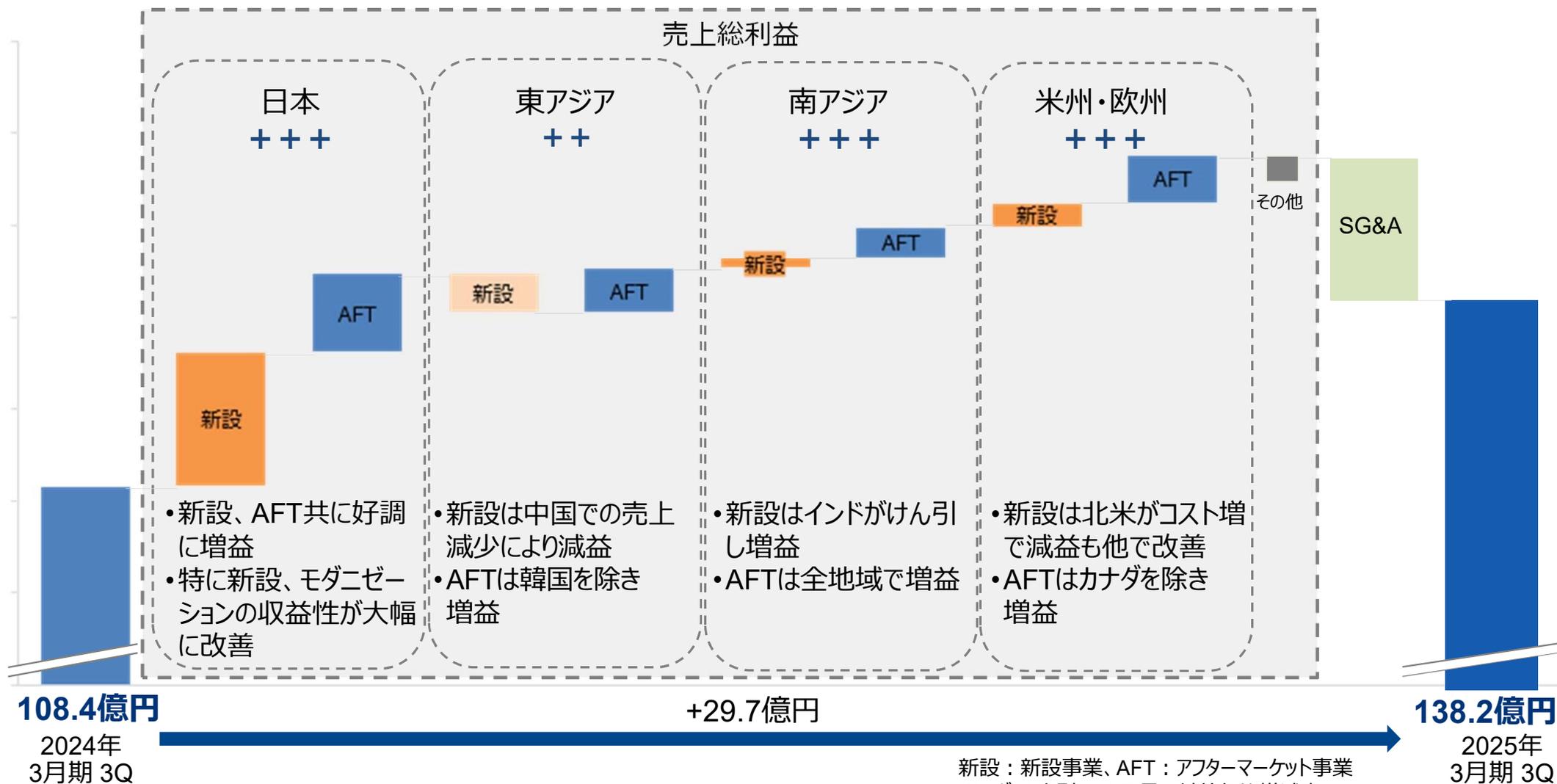
- 新設はシンガポールとインドで大きく成長
- AFTはいずれの地域でも2桁成長

- 新設は主に米国で大きく拡大
- AFTもアルゼンチンを除き、好調に拡大

新設：新設事業、AFT：アフターマーケット事業  
 グラフ内数字は構成比、その他は対前年増加率

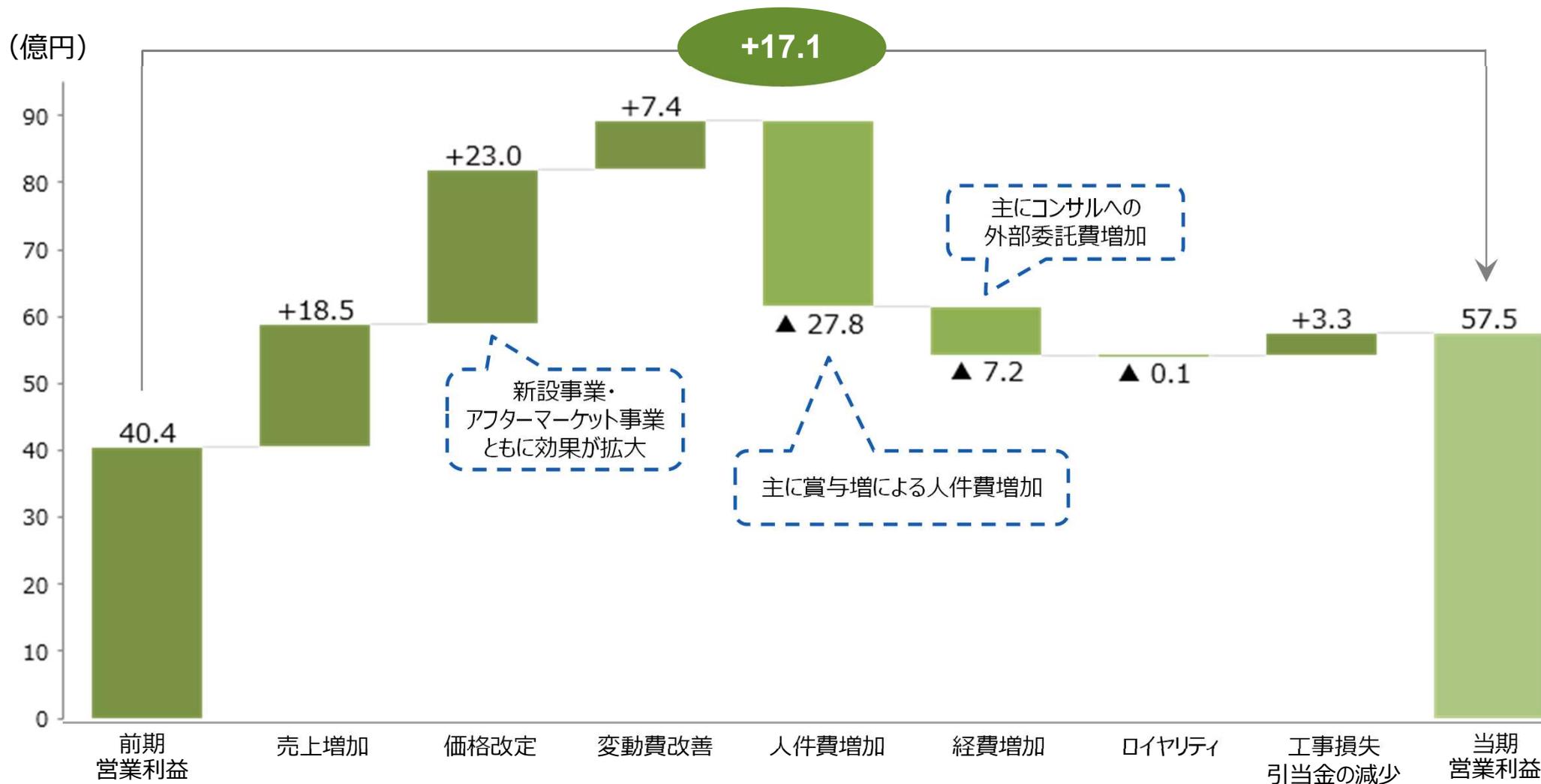
# 第3四半期 営業利益ブレークダウン

全セグメントで増益を達成。特に日本の増益額、利益率改善の貢献が継続



# 第3四半期営業利益の変動要因：日本

売上の増加、価格改定効果の拡大により、収益性改善が進み最高益を更新



# 2025年3月期 業績見込み（修正）

中国の市場低迷継続や一時的な費用の発生を受け、売上高・営業利益以下を下方修正するも、前年対比では売上、営業利益共に増収増益で過去最高を更新見込み

当期純利益は、中国でのリストラ費用（約9億円）の発生や繰延税金資産の取り崩し（約16億）等の発生により下回る見込み

（金額単位：百万円未満切捨）

	修正見通し	当初計画	増減率(%)	2024年3月期 実績	増減率(%)
売上高	242,000	245,000	▲1.2	229,401	5.5
営業利益	16,200	18,100	▲10.5	14,571	11.2
経常利益	19,500	20,000	▲2.5	18,717	4.2
親会社株主に帰属 する当期純利益	14,200	16,000	▲11.3	17,830	▲20.4
1株当たり当期純利益	181.95円	205.05円	-	228.55円	-
年間配当金	165円	165円	-	155円	-

対米ドル円為替レート

150.88円

145.00円

140.44円

# 2025年3月期 セグメント別業績見込み（修正）

売上は日本、南アジア、米州・欧州で計画を上回るが、東アジアが大きく未達となり、全体では微減  
 営業利益は日本と南アジアで上回るも、東アジアが中国での市場低迷による利益減少に加え、一時費用が増加する結果、全体では計画未達見込み。ただし、中国他での一時費用（約22億円）を除くと全体では当初計画を上回る

（金額単位：百万円未満切捨）

	売上高					営業利益または営業損失				
	修正見通し	当初計画	増減率 (%)	24年3月期実績	増減率 (%)	修正見通し	当初計画	増減額	24年3月期実績	増減額
日本	93,000	91,000	2.2	88,072	5.6	8,800	6,500	2,300	6,645	2,154
東アジア	71,000	79,000	▲10.1	79,378	▲10.6	▲800	3,900	▲4,700	1,630	▲2,430
南アジア	39,000	37,000	5.4	31,000	25.8	6,300	5,800	500	5,010	1,289
米州・欧州	53,000	52,000	1.9	45,776	15.8	1,900	1,900	-	1,455	444
調整額	▲14,000	▲14,000	-	▲14,826	-	-	-	-	▲169	-
合計	242,000	245,000	▲1.2	229,401	5.5	16,200	18,100	▲1,900	14,571	1,628

## 「Move On 5」の目標達成に寄与する各種取り組みを推進

### 新商品「エレ・グランズ」発表

- 国内向け新商品「エレ・グランズ」を発表
- Move On 5で日本市場での取り組みとして掲げた「新標準機の開発と導入」を実現
- 付加価値の高い新機種でトップラインの成長と収益性の拡大への寄与を見込む
- 発売は2025年春を予定



3つの系統の空間コーディネートを提案

### エレ・グランズの特徴

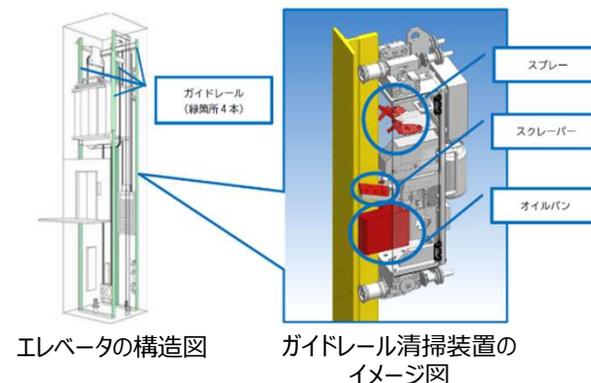
- CMF\*に基づき心地よさを追求した空間デザイン
- 水害対策として主要機器を頂部に配置、被水リスクの削減と早期復旧化
- 遠隔監視システムのバージョンアップによるメンテナンスの高度化

\*CMF: プロダクトの第一印象を左右するColor (色)、Material (材質)、Finish (仕上げ) の3要素を組み合わせたデザイン手法



### エレベータの据付省力化装置を開発

- 「ガイドレール清掃装置」を開発。据付現場において、重労働だった作業の機械化で、作業環境を改善
- 本装置の使用により、ガイドレール清掃の作業時間を約30% 短縮\*可能



\*15フロア停止（昇降工程50m）のエレベータの場合。当社従来比

### 中国で追加の人員削減を実施

- 中国市場の更なる悪化に対して、9月に実施した人員整理に加え、12月に約100名の人員削減を追加で実施
- これにより今期の人員削減規模は中国全体の従業員数のおよそ12%相当の合計約350名となる
- これに要した一時費用として約9億円（特別損失）を計上予定（第4四半期）
- また、削減による期待効果は年間約9億円の見込み

# トピックス：国内外での各種取り組み・受賞

## 「統合報告書2024」を発行



- ステークホルダーの皆様に向けて、統合報告書を発行



「統合報告書2024」  
日本語版

## フジテック・ホンコン 設立60周年

- フジテック・グループ初の海外法人であるフジテック・ホンコンが設立60周年を迎え、記念式典を開催



## フジテックインド累計1万台出荷

- フジテック・インドのエレベータ生産拠点「ビッグライズ」でのエレベータ出荷台数が累計1万台を達成



式典の様子

フジテック・インドの本社、工場

## ビッグステップがGOOD FACTORY賞を受賞



- エスカレータの開発・生産拠点であるビッグステップ（兵庫県豊岡市）が、日本製造業の模範となる工場に向けた表彰制度の「GOOD FACTORY賞」で、「ファクトリーマネジメント賞」を受賞

## 物流パートナーシップ優良事業者表彰の受賞

- 国土交通省・経済産業省の表彰制度である、「令和6年度 物流パートナーシップ優良事業者表彰」の「強靱・持続可能表彰」をセンコー株式会社などとともに受賞
- 関東から関西までの輸送をダブル連結トラックに集約した運行の継続により、効率化を進めている点が評価された

## エアータップの技術が近畿地方発明表彰を受賞

- エアータップに採用されている技術である「非接触センサー一体型エレベータ用ボタンスイッチ（特許第6841372号）」が、公益社団法人発明協会が主催する「令和6年度近畿地方発明表彰」において、「滋賀県知事賞」を受賞



# 主な受注案件

## 新設

みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画（日本）  
エレベータ 13台 エスカレータ 8台 計21台

## 新設

Chennai Metro Rail Project (Corridor 3 and 5)（インド）  
エレベータ 239台

## 新設

上海嘉里金陵東路（中国）  
エレベータ 188台 エスカレータ 85台 計273台

## 新設

Kwong Wah Hospital (Phase 2)（香港）  
エレベータ 29台 エスカレータ 8台 計37台

## 新設

Wonju Xi Centro（韓国）  
エレベータ 26台



上海嘉里金陵東路（中国）



Kwong Wah Hospital (Phase 2)（香港）

参考資料

# 連結貸借対照表

FUJITEC

(金額単位：百万円未満切捨)

	2024年3月31日	2024年12月31日	増減額	備考
流動資産	190,484	188,542	▲1,942	
現金及び預金	80,560	75,131	▲5,429	南アジア、東アジアでの減少
受取手形、売掛金及び契約資産	85,141	86,405	1,263	南アジアでの増加
棚卸資産	20,918	23,380	2,462	日本での増加
その他	7,653	7,587	▲66	
貸倒引当金	▲3,789	▲3,961	▲171	
固定資産	65,917	66,397	480	
有形固定資産	39,547	42,326	2,779	設備投資額+5,647、減価償却費▲3,213 為替ほか+345
無形固定資産	6,036	5,912	▲124	
投資その他の資産	20,334	18,159	▲2,174	繰延税金資産▲1,735
総資産	256,402	254,940	▲1,462	
流動負債	84,304	82,937	▲1,366	前受金+2,549、未払法人税等▲2,930 工事損失引当金▲1,465
固定負債	6,921	7,467	546	
純資産	165,177	164,535	▲641	為替調整勘定+5,590、非支配株主持分▲1,646 利益剰余金▲4,066
自己資本比率	57.9%	58.6%	0.7pt	
B P S	1,901.28円	1,913.95円	12.67円	

# 主な納入実績

## 新設



提供：長崎スタジアムシティ



長崎スタジアムシティ（日本・長崎）  
エレベータ20台、エスカレータ6台

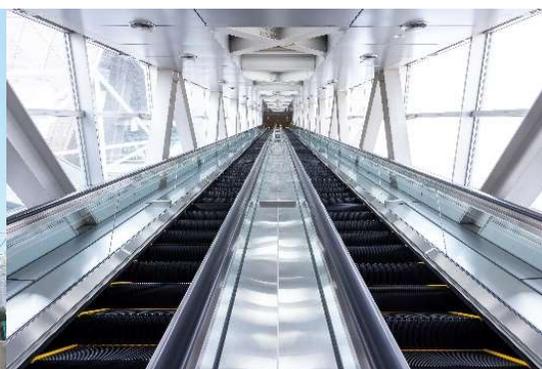
## モダニゼーション



ウスマ46（インドネシア）  
エレベータ 19台

\*フジテック・インドネシア最速の分速360mのエレベータ6台を含む

## モダニゼーション



東京ビッグサイト（日本・東京）  
エスカレータ8台

\*フジテック国内最長のエスカレータ（高さ22m、長さ45m）2台のモダニゼーションを含む

## 新設

Escon – Primeria（インド）  
エレベータ 32台

## 新設

ESTHELL PARAGON MALL（インド）  
エレベータ 7台、エスカレータ 12台、オートウォーク4台 計23台

## モダニゼーション

Galleria Tower 3（米国）  
エレベータ 15台

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場、2022年4月東証プライム市場移行)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数78,900,000株）
役員	代表取締役社長 原田 政佳 取締役：9名（うち社外6名） 監査役：4名（うち社外2名）
従業員数	連結 11,856名（単独 3,351名）
関係会社	39社（内、連結子会社24社） （日本、東アジア、南アジア、米州、欧州、中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

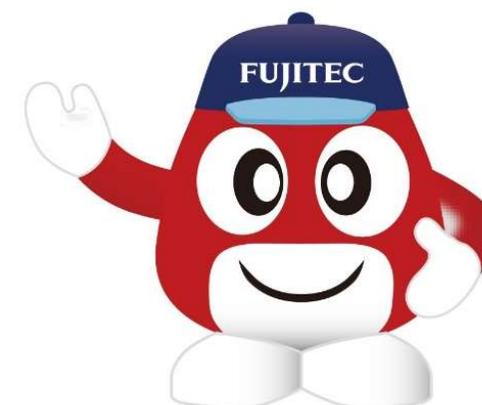
既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2025年2月6日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2025年2月6日

# フジテック株式会社

## 2025年3月期第3四半期 連結業績概要



テッキー